皆さんの疑問にお答えします（R8.7）

～環境資源ギャラリーの建て替えについて～

R7.4 公表の QA

現在の環境資源ギャラリーは、平成 17 年９月に供用開始し、20 年が経過しました。稼働期間は、地元との協定などにおいて耐用年数 20 年を目安としており、これまでその後のあり方について検討を進めてきました。しかし、機械設備の老朽化が著しく、令和２年５月には、ガス化溶融施設の重大トラブルが発生し、ごみ処理非常事態宣言を発令しました。

その後も故障が頻発し、令和２年度以降、**故障によりごみ処理を停止した回数は約 127 回**にものぼり、いつ重大な故障が発生してもおかしくない不安定な状態が続いていました。

このため、様々な検討が重ねられた結果、掛川市・菊川市衛生施設組合において、令和 12 年４月の供用開始を目標とした新しい環境資源ギャラリーの建設方針が決定され、現在、建設に向けた準備が進められています。

これに伴い、令和７年度からは現施設の焼却を停止し、新施設の供用開始までの期間は、すべてのごみを外部搬出により処理しています。

令和７年度からの取り組みや実績について以下のとおり解説します。

Ｑ１　新しい施設の建設はどの事業者に決まったの？

令和７年度に総合評価一般競争入札を行い、株式会社タクマ中部支店を代表企業とする共同企業体が、新施設の設計・施工事業者に決定しました。

現在、建築設備などの細かな設計を行っており、令和 12 年度の供用開始に向けて準備を進めています。

Ｑ２　新施設の建設にかかる費用はどれくらいなの？

令和７年５月に公表した新施設整備にかかる上限価格は２９６．２３億円としていましたが、入札の結果、約２２２億円となりました。

なお、その内の約半分は国からの交付金及び交付税が充当される予定です。

Ｑ３　令和７年度の可燃ごみの外部搬出費用はどれくらいかかったの？

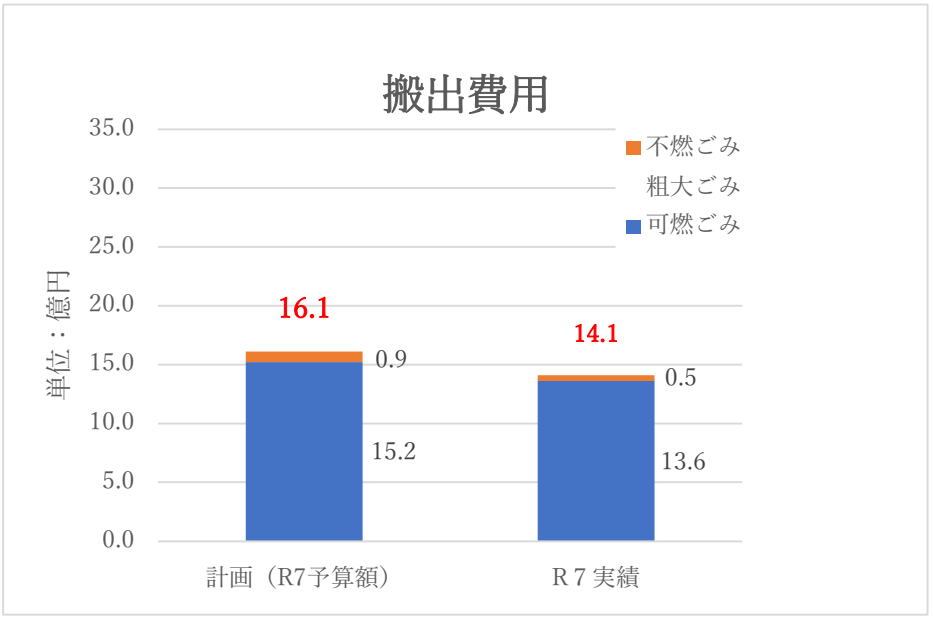
令和７年度は、約２８，７００トンの可燃ごみを外部搬出し、費用は約１４億円でした。

当初予算と比べると、次のとおりです。

①計画　令和７年度の外部搬出予算額　　：　１６億１，１６０万円

②実績　令和７年度外部搬出費用の実績額　　：約１４億　　９５２万円

①計画－②実績＝　約２億　　２０８万円



①　　②

上記のとおり、外部搬出による費用は、当初予算と比較し、約２億２０８万円縮減することができました。

Ｑ４　新施設の建設準備はどのくらい進んでいるの？

令和 12 年４月の供用開始を目指して、計画的に準備が進められています。

新しい廃棄物処理施設は、今の施設と同じ敷地内に建設します。建設には広い敷地が必要になるため、今の施設の一部を減築する工事を令和７年度に行いました。

今後は、令和８年度に新施設の細かな設計を行い、令和９年度から令和 11 年度までの３年間で建設工事を実施する予定です。

令和７年度に実施した工事は、次のとおりです。

【リサイクルプラザ減築工事】

新施設の整備に向けた施設内の用地を確保するため、火災で使用できなくなったリサイクルプラザ施設の一部を取り壊しました。

【粗大ごみ解体ヤード移設工事】

新施設の建築範囲内にある、粗大ごみ解体ヤードの移転整備を行いました。

令和８年７月　　掛川市・菊川市衛生施設組合